

動物園で実践する中学生と高校生のキャリア教育

○荻田あつみ，森角興起，賀曾利亜紀，堀口由美子
(横浜市立金沢動物園)

金沢動物園では、中学校、高等学校を対象に、キャリア教育の一環として職業学習（職業体験、職場見学、職業インタビュー、職業講話）を行っている。学習のねらいとして、学校では「生徒が自分の将来の進路や職業に対する関心と理解を深め、責任をもって仕事をすることで働くことの意義を理解すること」、動物園ではこれに加え「動物園の社会的役割や実際の仕事について学び、動物園業務に理解のある市民を増やすこと」を掲げている。

実施内容（学習時間、定員）は、職業体験：動物飼育担当の業務を体験（5時間、5名まで）、職場見学：動物園を見学しながら業務の内容を紹介（1時間30分、10名まで）、職業インタビュー：室内で業務についての質疑応答（1時間、定員無）、職業講和：職員が学校に出張し業務内容を講義（45分、定員無）で、各学校1日のみの受け入れとした。

実施校数（人数）の合計は、H25年度32校（345名）、H26年度23校（279名）、H27年度27校（302名）であった。

学習実施後に各学校から届く生徒の感想には、「動物の部屋の掃除を毎日するのは大変だと感じた（職業体験）」「動物園にはたくさんの役割があって大変なことを学んだ（職業講話）」「将来の夢は決まっていないけど、自分の長所を活かせるやりがいのある仕事をしたい（職業講話）」などの反応があった。このことから、生徒の動物園への興味の有無を問わず、動物園業務への理解や、職業に対する新たな発見、働くことに対する意識の変化に繋がったことが伺えた。